



日立社友クラブ 茨城支部

茨城支部 便り
第 45 号
2013年10月20日
編集兼発行人
長島 重和

HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI HITACHI



撮影者：大井 義信
撮影日：平成 24 年 11 月 14 日
カメラ：Nikon D200
シャッター速度：1/320 絞り：f7.1
焦点距離：42mm ISO400
望遠レンズ使用
場所：袋田の滝
撮影余話：鮮やかな錦秋に誘われて、奮起一番、家族と一緒に袋田の滝の見物に出掛けました。美しい紅葉を鑑賞できる期間は1週間程度と短い。平日だったので観光客も少なく、第2観瀑台からファインダーを覗いて観る袋田の滝は、太陽光線に反射する紅葉と滝の水飛沫のコラボレーションが見事で、一瞬心を奪われてシャッターを切りました。

リレー随筆 (45)

米内光政と啄木の先生 梅村 和男



盛岡市立下の橋中学校のクラス会に出席の折、母校を訪れた。

古びた旅館がある懐かしい通学路を抜けて北上川と中津川の交流するあたりに母校がある。秋の夕日に照らされ川辺の草木は黄金色に光っている。

その中に、米内光政、金田一京助、石川啄木等数多くの偉人を輩出した歴史を誇るように、校舎が立っている。鉄筋になり昔を忍ぶ術もないが、それでも懐かしい。

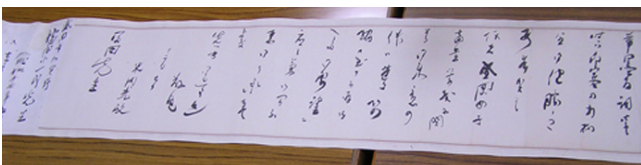
校長室で歓談の折、同級生の戸田洋子(旧姓 富田)さんが大切に持ってきた「米内光政(第37代総理)の富田小一郎宛手紙」を母校に寄贈するという。



母校の校長室にて
(左側から二人目が筆者)

米内光政の自筆の手紙を見る驚き以上に、戸田さんが日本一の先生、富田小一郎の孫娘さんであると知ったことの驚きの方が大きかった。

下の橋中学校は明治20年に設立され、啄木在学中



米内光政の富田小一郎宛手紙

は盛岡高等小学校であった。

「その昔 小学校の桎屋根に
投げし鞠 いかになりけむ 啄木」

この桎(まさ)屋根は今はない。

さて本題は、これから啄木がこの小学校を卒業し明治31年、10番の成績で入学した盛岡尋常中学校(現県立盛岡第一高等学校、私の母校でもある)の教師だった富田小一郎についてである。

帯に、「日本一幸福な先生」、「石川啄木、米内光政、板垣征四郎、鹿島精一、野村胡堂、金田一京助らは皆、この人の教え子だった。」と書かれた大変貴重な本「不屈の人、富田小一郎」を戸田さんから戴いた。

一人の教師がこれだけ多くの偉人を育て、世に出したとは、ただただ驚嘆するのみである。

この随筆の主旨は富田小一郎の紹介にあるが、参考までに彼の教育法の幾つかを書き出してみた。

1. 一度二度の落第で閉口たれる者は偉くなれない。
だから啄木をしばしば叱った。
「よく叱る師あり 髯のにたるより
山羊と名付けて 口真似もしき 啄木」
2. 鉞(マサカリ)を研ぐのは気永にたゆまずだ。
イザの時はカミソリは役立たぬ。鉞が役立つ。
米内は秀才でなく鈍重型だから時局に役立った。
3. 詰込み教育は応用、工夫、創意の力を失う。
4. 生徒の学力増進には問題を解かずことだ。
出来ない子には問題を分割して与えれば良い。
5. 練習は常に大切だ。商業実践で行商をやらせた。
6. 商業教育、女子教育を考え、盛岡女子商業学校等を創立した。
(左の手紙は、盛岡女子商業学校創立に尽力をお願いした富田の手紙に、米内が了承したと返事した手紙。冒頭に華墨とあり手紙の交換がわかる。)

今の混迷苦悩する教育界を救う一策になるのでは。

H響と宇宙少年団と私

《H響と共に30年、そして今、宇宙少年団ボランティア》

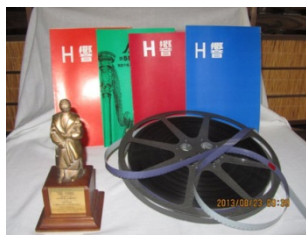
戸波 宗彦



私の小学低学年時代は歌といえは軍歌だったが、ラジオで堀内敬三などの音楽番組を聴いてクラシック音楽に目覚めた。学生時代に目覚めた。入社後直ちにH響（日立交響楽団）に入団した。

JETRO映画「日立交響楽団」

戦後、日本の産業がようやく復興の軌道に乗り始めた昭和四十二年、ジェットロ（日本貿易振興会）が日立にやってくる「Industrial Symphony」という、H響をテーマにした産業映画を制作した。



コロブス賞とフィルム

当時日立副工場長であり、H響団長でもあった綿森力さんの強いリーダーシップのもと、本社宣伝部も協働してフルカラーの立派な宣伝映画が出来上がった。そして翌年、米國オハイオ州で行われた国際産業映画コンクールに「Hi-teachi Symphony」として応募したところ、日本の産業人の文化的質の高さを表すものと評価され、見事「グランプリ・コロブス賞」、さらに「ニューヨーク」にニューヨー

ク市などの国際フィルム祭で銀賞などを獲得した。後日、綿森さんは「外国出張したときは先ず、自分はオーケストラのオーナーである」と相手に告げることにしている。雰囲気は柔らかくなり商談がし易くなる」と音楽の効用を語っておられた。本社宣伝部はこのフィルムを広く欧米テレビ局やHALなどにも配布し、宣



ニューヨークフィル団員と演奏（最後部演奏者が筆者）

奏録音した『日立讃歌』や『日立社歌』のレコードを持参したときのこと、勢い余って副社長室で私は「日立社歌」と「日立社歌」を研削防除隊を高く歌ったものだ。ビーカさん大

伝媒体として有効に使ってくれた。ところでH響は昭和二十六年、当時新入社員の中原寿雄さんの熱心なアピールが松野副工場長（当時）を動かした結果の、将に「無から有を生じた」産物である。私は国内外で会社業務の上でもH響を大いに活用させてもらった。一九八〇年代、米國フォード社との研究交流のため同社研究幹部が日研を訪問した際、会議の前日にH響のコンサートに彼等を招待した。「会社と従業員とが一体となったオーケストラ活動はアメリカでも聞いたことがない」と新鮮に映った様子だった。また、H響は唐山地震で亡くなった日立工場の方々の慰霊の意味を込めて現地演奏会を開いた。後日談としてT社が中国に発電設備の売り込みに行ったとき、中国側から「日立はオーケストラを連れてやってくるが、T社は何かがあるのか？」と訊かれ返答に窮した、と仄聞している。そのT社も日立に遅れること四十五年の平成八年、社内オーケストラを結成した。

海外でのエピソード

私がかつて日研のニューヨーク駐在員時代、GE社のCRD（全社研究所）・ビーカ副社長（所長）をスケネクタデいに訪問した際、H響が演

層喜んでくれた。後日談としてビーカ副社長と会った日立の幹部に「戸波から日立の歌を聞かせてもらった」と笑い話に話しておられたという。また、私は一度、ニューヨークフィルなどの現役の一流プロに混じってステージに立ち、ティンパニを演奏する機会に恵まれたこともある。これも懐かしい思い出である。

日立宇宙少年団との出会い

「日立電子顕微鏡の開発者」として有名な只野文哉さんは、「理科という学問は瞬間教育である」という持論を持っておられた。「原理や理屈が分かったとき、その瞬間パッと全身に閃きが走って、その子は喜びに溢れる。子供たちにはその「ひらめき瞬間」を出るだけ数多く体験させることが望ましい」と。蓋し名言である。もともと私は宇宙・天文学が好きだったこともあって退職後、この大先輩の持論を胸に社会への恩返しのため宇宙少年団にボランティアとして働いて十年になる。「日本宇宙少年団・日立シビックセンター」



日本宇宙少年団・日立シビックセンター分団と筆者

分団」は宇宙飛行士の毛利衛さんが約二十年前、日立市に来訪・講演したのを機に結成された。現在、団員は男女合わせて五十名、小学生三名、高校生三名で構成されている。この分団は

今では全国に100以上もある。物理・天文等に明るい優秀なスタッフ・ボランティア数人とともに流星観望キャンプや宇宙飛行士に会う会の実施、また、見学会を含む月例会ではプラネタリウムの活用はもとより「振り子の等時性の検証実験」「アヴォガドロの箱工作」などを実施し、同時にそのテーマに関連する科学者の伝記やギリシャ神話などのロマンを話して聞かせるなど、科学の面白さを幅広く体験させている。



古川宇宙飛行士と筆者

ペットボトル利用 水ロケット 中でも水ロケット工作は日立理科クラブとの連携もとりながら毎年取り上げてきた。自作の水ロケットが一五〇メートル前後も飛翔するのを目撃して興奮しないことはない。特筆すべきは三年ほど前、吾が日立分団の男子団員はJAXA日本代表の一員としてオーストラリアで開かれた「水ロケット世界大会」に出場した。昨年は小学女子団員が全国大会で「アイデア賞」を貰うなどの好成績を収めている。なお毎年、卒団する子供たちの数だけ公募・抽選で団員を補充するのだが応募者が多く、毎年数十名をお断りしているのが現状である。そして団員の多くは男女とも、高校は県内の有力校に、大学は理系コースに進んでいるようである。将来、団員の中から宇宙飛行士が誕生することを夢見ているこの頃である。

戸波 宗彦氏 連絡先
〒316-0026 日立市みかの原町 2-9-12
電話 0294-53-7307
メール: m3tonami@net1.jway.ne.jp

同好会行事に参加して



「卓球クラブ」 宇佐美 三郎

昨秋から参加しています。個性豊かな技を持つ多くの方々のご指導のおかげで、私の腕前も徐々にではありますが上がって来ています。

皆さんは毎月各地の大会に出かけては好成績を連発していますので、私もフィットネスクラブの人達と2つ下のクラスで参加してみました。

600人が参加して2日かけて行うもので、全社大会を思い出します。5チームのリーグ戦ですが、以前の2回は4戦全敗で、テーブルからやっと顔を出す、愛ちゃんのような小学2年生の女の子にもメンバーは敗れてしまいました。今回は当同好会での成果も生かした結果、おじ(い)さん4名、おばさん2名の私たちチームは、小、中、高、大の男女学生を相手に3勝1敗でした。毎日練習している若者に対しては、昔ながらの回転技や陽動作戦で活路を開くことになります。卓球は球に多様な変化を高速で与えて応酬しますので、頭の健康増進にも最適です。

私はこれからも新しい技にチャレンジし続けて行きたいと考えています。



「勝田 PC」 保田 和雄

1970年前後はコンピュータの応用が始まった頃だった。この頃から私は海外滞在、出張が多くなり社内での研修、同好会への出席が殆ど出来なかった。言うならばエアポケットに落ちてい

たとっても過言ではなかった。

70才になってPCを購入し、ここから勉強を始めたが、ここで戸惑ったことはカタカナ語である。アプリがApplicationでしかも“l”の発音が“r”になっている等、理解に苦しんだ。ともかく幼稚園生が一人で勉強しようにもどの様に手を付ければ良いか解からず、このPC講座に転がり込み、入会させて頂いた。しかし、皆様は大学生レベルなので付いて行くのが大変だった。ありがたいことに優等生から落第生まで居

ても講師、同僚は怒ることなく教えてくれた。

例えばPCのC領域、D領域の区別が付かず何だかおかしいのだと言うと親切に見てくれ、さらにC領域の増加までやってくれた。またお前デフラグを知っているかと聞かれても、何のことも解からず万歳をする、遣り方まで教えてくれた。ともかく、私にとっては落第生の救済クラスだった。何れにせよ、私にとってこのPC教室は救急病院である。困った時に駆け込む処である。一日も速く熟練し、次の仕事に生かしたいと考えている次第である。

私のPCの使い方は原稿を書くことが第一である。しかし、図表などは書けず困っている。第二はE-Mailでこれを送付する。訂正が来るとそれに赤字を入れねばならない。困ることは人によって可、不可が出ることである。更にある名誉教授に次の仕事のためにインターネットを使い、世界の論文を読めと指摘されたことである。



「専門講座」 後藤 隆雄

私の「専門講座」への参加は、2004年11月に開設された「デジカメ画像処理入門講座」に始まる。それ迄はコンデジで写真を適当に撮るだけであつたが「デジカメ画像処理入門講座」を受講して全く新たな世界が開けたと云って良い。

それがトリガーとなり翌2005年2月にデジタル一眼レフカメラを購入して「雪の大内宿」のデジカメクラブ撮影会へ参加するなど同好会活動を楽しむようになった。それ以来、画像処理に関する専門講座を中心に参加してきたが、次第に新たなソフトの勉強会にも参加するようになり、現在は「Fireworks 勉強会」と「Dreamweaver 実践講座」を受講中である。私にはかなり高度なもので従っていくのが精一杯ではあるが、その反面新鮮な刺激材となっている。

この専門講座に参加するもう一つのメリットは日立地区の方々と親しくお会いできることである。お陰で2004年に参加して以来、同好会、専門講座を通じて知り得た多くの方々から、折に付けて幅広い知識と経験を教えて頂けるなど、専門講座はソフトの勉強だけでなく実り多い時間となっている。

支部からの お知らせ

理事会・茨城支部役員会報告

*第62-第4回 日立社友クラブ理事会報告

1. 開催日：平成25年9月5日(木)
2. 議事
 - ・新入会員の件：満65歳到達者(入会有資格者)116名全員が入会を承認され、会員数は5,661名となった。
 - ・第63回日立社友クラブ総会の件：10月4日(金) ホテルニューオータニで実施。長寿祝 白寿：6名 米寿：58名 喜寿：326名

*平成25年9月 茨城支部役員会報告

1. 開催日：平成25年9月6日(金)
2. 議事

- ・新入会員の審議：新入会員4名の審議が行われ、入会が承認された。9月6日現在で茨支部会員数は1,068名となった。
- ・役員交代の件：日立地区担当の畑山役員から横山新役員への交代があつた。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別にその内容を別紙にてご通知致しておりますので、ご確認の上納入下さるようお願い致します。

訃報 真に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。衷心よりご冥福をお祈り致します。

田崎 健治 平成25年7月23日 享年81歳
萩谷 敬一 平成25年9月22日 享年85歳

同好会の行事ご案内 (11月～1月)

1. 第55回歩こう会 [那珂湊—大洗コース]

秋の那珂湊から大洗を計画しました。水戸徳川家の別荘を初めに歩きます。皆様のご参加をお待ちします。

- ・開催日：平成25年11月14日(木)
雨天延期12月5日(木)
- ・集合：ひたちなか海浜鉄道那珂湊駅 10:30 スタート
日立発 9:16-勝田着 9:39 乗換勝田発 10:05
那珂湊着 10:19
- ・コース：同駅—反射炉—湊公園—願入寺—水戸八景—
大洗水族館(昼食)—大洗海岸—磯前神社 14:00 解散 全長 7Km 平坦地 バスで
那珂湊駅または水戸駅行きを利用
- ・持参品：弁当、飲み物 大洗水族館食堂利用可
- ・会費：200円(非会員はプラス300円)
- ・申込締切：11月7日(木)
- ・申込先：垣貞 玲吉 Tel/Fax : 029-274-1727
E-mail:kakisada@ae.auone-net.jp

2. 第58回研修会

[陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地と予科練平和記念館見学]

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地(広報センター、車両工場、航空学校霞ヶ浦校・ヘリコプター訓練)と予科練平和記念館、雄翔館を見学し、帰路に牛久大仏を参拝致します。

皆様の参加をお待ち致しております。

- ・開催日：平成25年11月29日(金)
- ・集合：常陽銀行大甕支店前 8:00
JR大甕駅着 上り 7:43、下り 7:46
を待って出発
日立南ドライブイン 8:10
- ・帰着：大甕駅前 18:10 頃の前定
- ・会費：4,000円予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：先着40名
- ・申込締切：11月10日(日)
- ・申込先：石田 和夫 Tel/Fax : 0294-34-0209
E-mail : ishida.kazu@nifty.com

3. 定例行事予定一覧 (開催日・場所・時間などは各グループより、別途ネット等により連絡致します。)

グループ名	連絡先	実施日(曜日)			場所	時間	備考
		11月	12月	1月			
野鳥自然観察グループ	北村一郎 029-241-8504 HGE00424@nifty.com	18(月)			小山ダム	9:00~	参加費:¥200/回 原則雨天中止
			16(月)		久慈川河口	9:00~	
				20(月)	千波湖	9:00~	
囲碁の会	日立地区 助川一弥 0294-24-3768 kazy.sukegawa@net1.jway.ne.jp	13(水)	11(水) 大会	8(水)	同好会本部	10:00~ (大会) (9:30~)	参加費:¥100/回 大会:¥1500
	勝田地区 七海 清 029-273-8450 fwny8718@mb.infoweb.ne.jp	27(水)	25(水)	22(水)			
		21(木)	19(木)	16(木) 大会	大島コミュニティセンター	9:00~	参加費:¥200/回 大会:¥700
料理教室	澁口七郎 0294-43-5134 s-shibuguchi@net1.jway.ne.jp	講師の都合により休会、再開時は別途ご連絡します。					
卓球クラブ	綿引邦彦 0294-37-1491 perroygato4923@net1.jway.ne.jp	6、13、 20(水)	4、11、 18(水)	8、15、 22(水)	会瀬体育館	9:00~ 12:00	参加費、会場費等 まとめ:¥2500/年
デジカメクラブ	高原邦明 0294-53-7101 k-takahara@rio.odn.ne.jp	4(月)	2(月)	6(月)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥1000/回 昼食代含む
写真五七五	八巻秀雄 0294-34-4173 yamaki@green.ocn.ne.jp	1(金)	6(金)	10(金)	大久保交流センター	09:00~ 12:00	参加費:¥300/回 昼食別途
パソコングループ	HPの会 中村 進 0294-52-5525 ssm2332@knh.biglobe.ne.jp	5(火)	3(火)	7(火)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	基礎講座 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	12(火)	10(火)	14(火)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	勝田地区 渡部喜久雄 029-282-7633 kikuo_wa@d1.dion.ne.jp	26(火)	25(水)	28(火)	ひたちなか市ワークプラザ	13:15~ 16:00	参加費:¥700/回
	シニアパソコン 山田和夫 0294-22-3950 k-yamada@bb.wakwak.com	18(月)	16(月)	20(月)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
	FWC3 勉強会 安田 出 0294-37-1959 yasuda@i.email.ne.jp	15(金)	20(金)	17(金)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む
DW 実践講座		28(木)	26(木)	23(木)	同好会本部	10:00~ 15:00	参加費:¥800/回 昼食代含む

FWC3 勉強会および DW 実践講座は11月で終了し、12月からは新規勉強会を開催する予定です。

第9回 合同写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同の写真展を開催します。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご来場をお待ちしております。

- ・日時：11月27日(水)～12月1日(日) 9:00～17:00
(初日は13:00から、最終日は15:00まで)
- ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー

編集後記 梅村さんの母校には著名な同窓生の多いのに驚き、その恩師の教育哲学には共感を覚えます。戸波さんのH響と宇宙少年団の関りでは、発足から発展過程で種々の働きかけが大切であることが分かります。さて厳しかった猛暑も終焉を迎えたようです。東京五輪開催決定を機に景気上昇を実感したいですね。 長島 重和